

施策	2201 公園緑地の維持・整備						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	つがの里の公園拡充や都市公園等の適正な維持・管理を進めて、生活環境の充実を図る。						
成果指標	一人当たり都市公園面積...5年間で12.4㎡(現状値11.7㎡)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [m ²]	予定	11.70	11.80	12.00	12.20	12.40
		実績	11.44	11.61	11.63	11.97	
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	654,626	779,433	529,481	452,628	
実績		640,740	801,397	455,444	470,652		
内部評価	貢献度	「住環境の整備に対する市民満足度」を向上させるには、都市公園の整備・管理及び老朽化した公園施設の改修が必要である為、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	新規都市公園整備は進んでおらず目標値には至っていない。ただし、開発等で帰属された公園面積を含めると1人当たり13.62㎡であり目標を達成してる。					
	課題	本市の公園については、供用開始より永年経過した公園が多く施設の老朽化が進んでいるため、計画的な維持修繕が必要である。					
	取組方針	老朽化した公園施設については、公園施設長寿命化計画を策定し計画的な維持修繕を行っていく。また、公園施設の調査点検を強化し、適切な公園管理を図る。					
外部評価	<p>公園は以前に比べると高齢者の利用が増え、子どもの利用が少なくなってきている。多くの方に安全に使用してもらうには、防犯や災害時の避難場所としての機能も必要となるので、計画的な点検・調査・維持管理は引き続き行っていただきたい。</p> <p>公園の長寿命化計画策定後は、日常的な点検・調査を適切に実施し、施設の老朽度合いや利用状況、地域性等により、優先度を判定するなど、計画的な維持管理を行うことにより、安全性の確保に努めていただきたい。</p> <p>また、市民ニーズを反映させるものとして公園に対する満足度についての指標を検討すべきである。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	440102	都市公園等管理費(大平)				36,695	100
	440301	栃木総合運動公園管理運営委託費				176,762	100
	443101	栃木総合運動公園施設整備事業費				27,798	100
	706703	部屋南部桜づつみ公園(緊急避難地)施設整備事業費				17,585	100
	720501	公園の長寿命化計画策定事業費				52,990	100
	445902	大平街区公園等施設改修事業費				4,271	98
	440101	都市公園等管理費				75,504	92
	733703	藤岡スポーツふれあいセンター空調設備等改修事業費				12,484	88
	445401	生垣設置奨励補助金				870	80
440103	都市公園等管理費(藤岡)				10,521	1	

平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	2201 公園緑地の維持・整備		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目標を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	平成28年度から、より効率的に公園等の維持・管理ができるように市の公園管理の一元化を実施した。
	受益者負担	適正	使用料等の負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成には貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替事業はない。
	成果向上の余地	有	今後適切な事業を行うことで、公園の適正な維持管理が見込まれる。
内部評価	貢献度		
	達成状況	<p>「成果指標において一人当たりの都市公園面積を挙げているが、今後の人口減少により実績値を押し上げてしまう懸念があるので、増加した公園面積などを成果指標とするよう検討すべき」とのご指摘をいただいているが、現在、公園緑地については維持管理が主となっており、計画的に新規公園等の整備を進めることが難しい状況である。</p> <p>平成29年度に公園施設の長寿命化計画の策定を進めているところであり、計画策定後は、この計画に基づき老朽化した公園施設の計画的な維持修繕を行っていくことになるので、計画地の達成状況に対する評価を行う予定である。</p>	
	課題		
	取組方針	<p>平成29年度中に、公園施設の長寿命化計画を策定し、老朽化した公園施設の計画的な維持管理を行っていく。</p> <p>また、公園施設の調査・点検を適切に実施するとともに、公園利用者のニーズに合わせ、利用状況に沿った公園管理を図る。</p>	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	080405	予算事業コード	440301	事業区分	04	義務的的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	栃木総合運動公園管理運営委託費										主	2201	生活環境の充実		公園緑地の維持・整備	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 公園緑地課 公園緑地維持第1係						担当者	石川 昌良			従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				事業期間	H 2 1 ~ H 3 3 年度		全体事業費 (人件費除)	2,318,754		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 指定管理制度による総合運動公園の管理業務 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 総合運動公園利用者のサービスに努める。また、施設利用者数の増加に努める。								
							成果目標	一人当たり都市公園面積...5年間で12.4㎡(現状値11.7㎡)								

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込															
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	<p>平成 2 7 年度</p> <p>【事業の内容】 ・総合運動公園を指定管理者制度により管理運営するに当り、利用者数の増加を目指し、自主事業を実施する。 【成果】 ・施設利用者数は年間443,041人であり、前年度より41,629人増加した。 ・自主事業(教室利用者数)は年間67,620人であり、前年度より10,750人増加した。</p> <p>平成 2 8 年度</p> <p>【事業の内容】 ・栃木市総合運動公園の良好な維持管理、更なる利活用を図るため、指定管理者制度により管理運営を行なう。 【成果】 ・施設利用者数は年間454,967人であり、前年度より11,926人増加した。 ・自主事業(教室等利用者数)は年間75,539人であり、前年度より7,919人増加した。</p>													
	県支出金	0	0															
	地方債	0	0															
	その他特財	0	0															
	一般財源	175,679	175,262															
	事業費 a	175,679	175,262															
	人件費 b	750	1,500															
減価償却費 c	0	0																
総事業費 a+b+c	176,429	176,762	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地						
結果指標 1	175,679.00	175,262.00	委託費	委託費の額 H28目標値 175,262円	円													
結果指標 2	397.00	385.22	施設利用者1人当りの委託費	委託費÷施設利用者数 H28目標値 437円	円													
<table border="1"> <tr> <td>妥当</td> <td>無</td> <td>適正</td> <td>有効</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> </table>													妥当	無	適正	有効	無	無
妥当	無	適正	有効	無	無													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 公園の維持管理を進めるとともに、市民のニーズに答えた新たな事業等の取り組みを通じて、公園利用者の拡大を図る。
--------	------------------------------------------------------------------------------

事後評価備考	
--------	--